

地域再生計画「おいでんとよたいいじゃんみよしまちづくり計画」

事後評価委員会開催概要

1. 日時

日 時：平成 28 年 3 月 15 日（火）10：00～11：30

場 所：豊田市役所 東大会議室 4

▼評価委員

所 属	職氏名
大同大学工学部建築学科土木・環境専攻	教 授 嶋田 喜昭
公益財団法人 豊田都市交通研究所	研究部長 安藤 良輔

▼事務局

豊田市建設部 建設企画課、みよし市都市建設部 都市整備課

▼関係課

愛知県豊田加茂建設事務所 道路整備課、愛知県豊田加茂農林水産事務所森林整備課、豊田市建設部 土木課、豊田市建設部 道路予防保全課、豊田市建設部 道路維持課、豊田市建設部 街路課、豊田市建設部 地域建設課、豊田市産業部 森林課

▼資料

地域再生計画書、事後評価調書案

2. 会議趣旨

- (1) 設立趣旨、規約説明 ⇒ 異議なし（委員）
(2) 委員長選出 嶋田委員 ⇒ 異議なし（委員）

3. 議事の主な意見概要

(1) 地域再生計画の概要

○指標 1 の労働力人口は伸びているが、豊田市とみよし市の内訳を記載するべきと考える。（委員長）

○指標 3 の緊急啓開道路について、定義も合わせて記載するべきと考える。（委員長）

(2) 定量的指標の評価

○事業内容に対して目標指標の設定内容が大きすぎる。目標指標を立てる段階でもう少し身の丈に合った指標でも良いと考える。（委員）

○都市と農山村の交流や災害時・緊急時の住民の安全の確保に対して、補完するその他指標が少し寂しいように思うが、その他指標を 10 個も設定しているので、評価にあたっては問題ないと考える。（委員長）

(3) 今後のまちづくり

○現行の地域再生計画により、豊田市では既に事業が始まっているので、今後の中間評価では、単に目標指標で評価するのではなく、今回の評価と同様に、その他の指標で補完すべきと考える。（委員長）

○事後評価時は計画策定時からの 5 カ年が経過して社会情勢が変わってきているので、目標だけでなく、その現時に応じて、その他指標で補完することが重要である。（委員）

○都市部と農山村部の交流の推進を評価する指標としては、観光客数の変化等についても評価すべきと考える。（委員）